

令和7年度 福島県診療放射線技師学術大会 一般公開講座

『放射線治療医ががん患者になった話』 ～ポンコツながん患者から学べるところはあるのか～

慢性B型肝炎から肝硬変へと進行し、39歳で進行肝がんと診断された放射線治療医の体験談です。この話では、病気を家族に伝える過程、検査や治療時の精神的変化、肝臓移植とドナーとの関係性、ICUでの不穏な状況、闘病中に感じた恐怖、合併症の治療、実際の治療費、患者会への参加、がん教育、そして趣味の重要性について紹介します。

ポンコツな医療従事者としての視点を交えながら、自らの経験を振り返る内容となっています。この体験から何を学び取るかは皆さん次第です。

<講師>

福島県立医科大学 保健科学部
診療放射線科学科 准教授

佐藤 久志 先生



日時

令和7年10月26日(日)

午前9時30分～10時30分

場所

星総合病院 ポラリス保健看護学院
メグレスホール

参加費

無料

福島県立医科大学 医学部卒

1993年4月	福島県立医科大学 放射線医学講座 入局
1994年4月	総合会津中央病院 放射線科 勤務
1995年4月	福島県立医科大学 放射線医学講座 助教
2008年4月	肝臓がん罹患
2014年8月	福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 助教
2018年11月	福島県立医科大学 放射線腫瘍学講座 講師
2021年4月	福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線技術科学科 准教授

皆様のご参加をお待ちしております

共催：公益社団法人 福島県診療放射線技師会
公益社団法人 日本診療放射線技師会

